

# 由良町 土砂災害・洪水ハザードマップ

【町全域】

## 【留意事項】

このハザードマップには、和歌山県が指定する「土砂災害特別警戒区域」「土砂災害警戒区域」「洪水浸水想定区域(由良川・前田川)」及び町が指定する避難場所や主な避難経路を表示しています。  
なお、雨の降り方によっては、ハザードマップに示した区域以外でも土砂災害や洪水災害が発生するおそれがありますので、十分に注意してください。

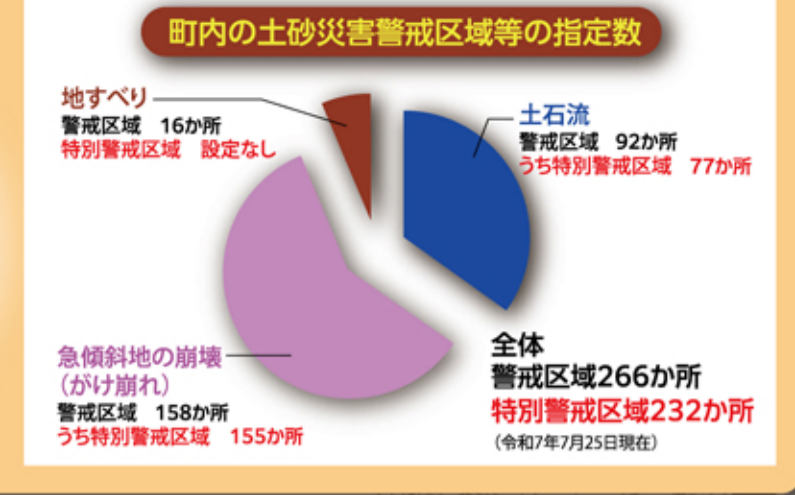
## 避難するときの心得

- 避難フポイント <危ないと感じたらすぐ避難>
  - ・周辺の変化に気配り、雨の降り方や浸水の状況に注意し危ないと感じたら自主的に避難しましょう。
  - ・ひとりで避難することは大変危険です。ふたり以上で避難しましょう。
  - ・夜の避難は大変危険です。川・道路わきの水路・がけからできるだけ離れて避難しましょう。
  - ・土石流に背を向けて逃げると巻き込まれます。谷から直角方向に逃げましょう。
- 避難場所への避難が困難な場合は・・・
  - ・鉄筋コンクリート造りなどの頑丈な建物の2階以上で、がけから離れた部屋へ避難しましょう。



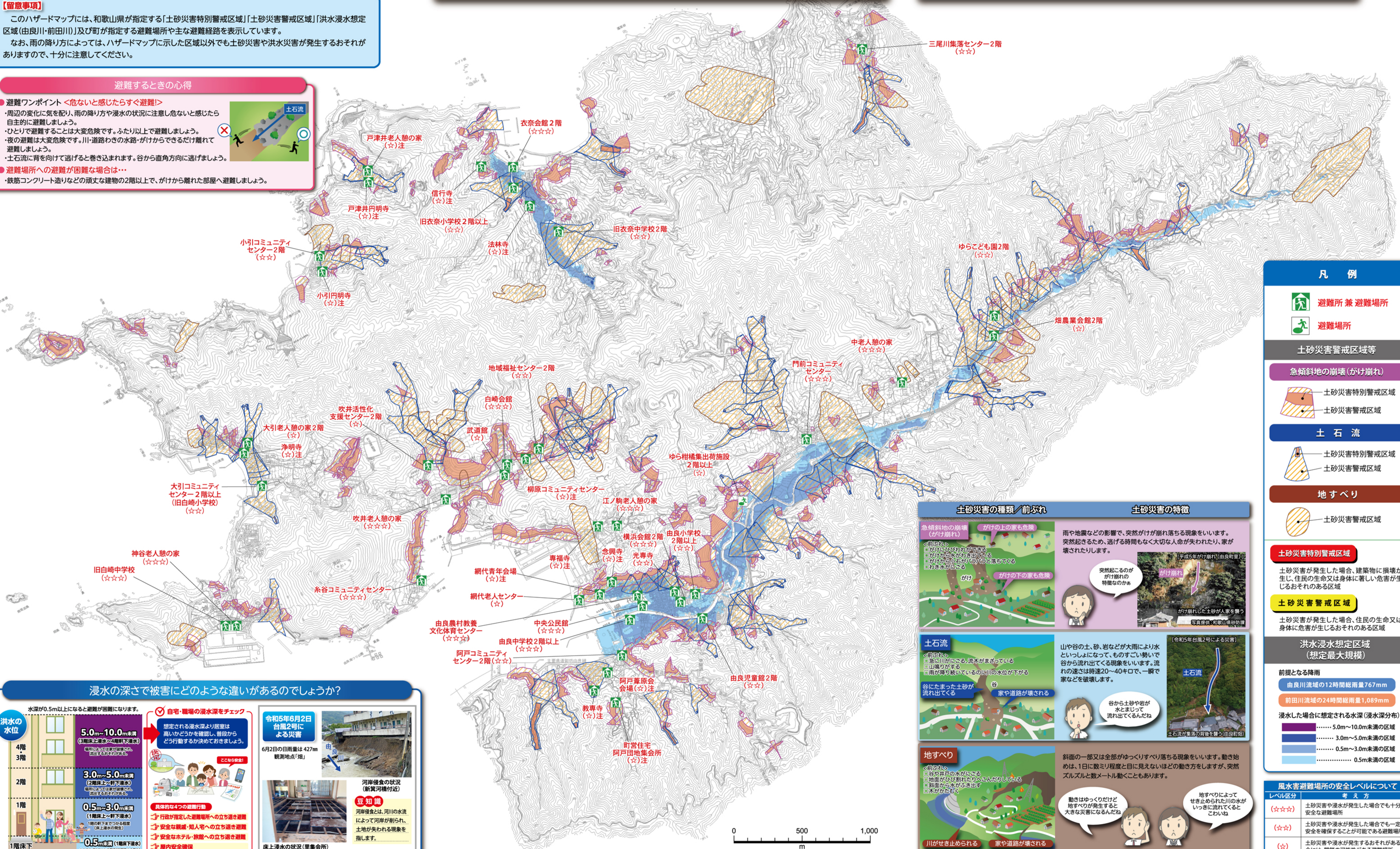
## 土砂災害について

- 土砂災害の種類には「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」「土石流」「地すべり」があり、地震や大雨などにより発生します。
- 和歌山県は土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域」や「土砂災害警戒区域」として指定しています。



## 洪水・浸水害について

- 大雨などにより河川の流量が異常に増加することによって、堤防の浸食や決壊、橋の流出などが起こる災害を「洪水災害(外水はん進)」といいます。
- 大雨などによる地表水の増加に排水が追いつかず、用水路、下水溝などがあふれてはん進したり、河川の増水や高潮によって排水が阻まれ、住宅や田畑が水につかる災害を「浸水害(内水はん進)」といいます。



## 凡例

- 避難所兼避難場所
- 避難場所
- 土砂災害警戒区域等
  - 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
    - 土砂災害特別警戒区域
    - 土砂災害警戒区域
  - 土石流
    - 土砂災害特別警戒区域
    - 土砂災害警戒区域
  - 地すべり
    - 土砂災害警戒区域

**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

**土砂災害警戒区域**  
土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域

**洪水浸水想定区域(想定最大規模)**

前提となる降雨

- 由良川流域の12時間総雨量767mm
- 前田川流域の24時間総雨量1,089mm

浸水した場合に想定される水深(浸水深分布)

5.0m~10.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
0.5m未満の区域

**風水害避難場所の安全レベルについて**

レベル区分	考え方
(☆☆☆)	土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難場所
(☆☆)	土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能な避難場所
(☆)	土砂災害や浸水が発生するおそれがある場合には、閉鎖の可能性がある避難場所
(☆注)	土砂災害や浸水が発生するおそれがある場合には、閉鎖の可能性が高い避難場所

## 土砂災害の種類/前ぶれ

**急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)**  
急傾斜地にはひび割れや崩れ、土砂が崩れ落ちるおそれがある。雨が降り続くと、崩れやすくなる。崩れ落ちた土砂が、家や道路を壊す。

**土石流**  
急傾斜地に崩れ落ちた土砂が、谷間にたまって土砂が流れ出てくる。家や道路が壊れる。

**地すべり**  
急傾斜地に崩れ落ちた土砂が、斜面を滑り落ちてくる。斜面から水が湧き出す。川がせき止められる。家や道路が壊れる。

**土砂災害の特徴**  
雨や地震などの影響で、突然がけが崩れ落ちる現象をいいます。突然起きるため、逃げる時間もなくて大切な人命が失われたり、家が壊されたりします。

**土石流**  
山や谷の土、砂、岩などが大雨により水といっしょになって、ものすごい勢いで谷から流れ出てくる現象をいいます。流れの速さは時速20~40キロで、瞬間で家などを破壊します。

**地すべり**  
斜面の一部又は全部がゆっくりすべり落ちる現象をいいます。動き始めは、1日に数ミリ程度と目に見えないほどの動き方をしますが、突然ズルズルと数メートル動くこともあります。

**洪水による自然災害のほとんどは、瞬間的に襲ってきます。**

## 浸水の深さで被害にどのような違いがあるのでしょうか?

水深が0.5m以上になると避難が困難になります。

浸水深	被害
5.0m~10.0m未満	2階以上(2階床上下)浸水
3.0m~5.0m未満	2階床上下(1階床下)浸水
0.5m~3.0m未満	1階床上下(1階床下)浸水
0.5m未満	1階床下(1階床下)浸水

資料:「新たな避難情報に関するポスター」(チラシ)内閣府(防災担当)・消防庁を基に作成

**令和5年6月2日 台風2号による災害**

6月2日の日雨量は427mm 観測地点「畑」

河岸侵食の状況(新築河橋付近)

豆知識  
河岸侵食とは、河川の水流によって河岸が削られ、土地が失われる現象を指します。

具体的な4つの避難行動

- 行政が指定した避難場所への立ち寄り避難
- 安全な親戚・知人宅への立ち寄り避難
- 安全なホテル・旅館への立ち寄り避難
- 屋内安全確保

0 500 1,000 m  
S=1/13,000  
「由良町全図」(平成30年3月時点)を基に作成